

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第32回 西脇市子ども・子育て会議
開催日時	令和8年2月3日（火） 午後1時30分から3時10分まで
開催場所	西脇市役所 委員会室
出席委員の 氏名又は人数	16名
欠席委員の 氏名又は人数	1名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局8名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議事又は 報告事項	1 西脇市乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可等に関する意見聴取について 2 保育所等の職員による虐待に関する通報義務等について 3 その他
会議の記録（概要）	
事務局	<p>○開会 ○会議成立の報告 ○教育創造部長挨拶</p> <p><b>【議事】</b>          &lt;西脇市乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の認可等に関する意見聴取について&gt;</p> <p>資料1に基づき、事務局より説明</p>

会長	先程の説明に対して意見はあるか。
委員	<p>受付開始時期に関して聞きたい。</p> <p>対象が6か月児からとのことだが、いつから申請できるのか。出生前に申請をするのか。</p> <p>予約が埋まっていた場合は、キャンセル待ちになるのか。</p> <p>利用児童の基準は。</p>
事務局	<p>いつから申請できるかについては、近隣で既に実施している市の状況からすると、利用開始の2週間ほど前から申込ができるようになっている。本市においても、認定手続等に2週間程度要するということで、同じような取扱で検討している。</p> <p>予約が埋まっていた場合の取扱について、現時点で想定していないところだが、そのような状況が発生した場合、園長先生方と定員の枠を広げる等の相談をさせていただく予定。また、支援が必要な家庭が利用できるように、そのための枠を確保しておきたいと考えている。</p> <p>利用児童の基準については、保育所等に通っていないことと、年齢要件のみ。</p>
委員	資料3ページ、認可申請施設及び利用定員について、こども園とはどのような情報収集や確認をされて利用定員を決まられたのか、詳しく教えて欲しい。
事務局	園長会の中で、利用時間帯、保育教諭の配置状況、受け入れ可能な乳幼児の年齢をお伺いしながら、定員を決めている。
委員	<p>まだまだ制度内容が国から示されていない状況の中で決めている。総合支援システムも4月に間に合うのかも心配なところ。令和8年度から全ての自治体で実施することは決まっているが、年度当初からの開始は難しいのではないかと、思っている。</p> <p>事業者は、4月1日に開始できるよう準備を進めている。</p>

委員	実際に動いていく中で、西脇市の独自性、西脇市ならではのことが出来ればと思う。ぜひ、利用される保護者の意見をよく聞いていただいて、誰でも公平に利用できるシステムにするよう、保護者と西脇市が協働しながら考えていく一年にしてほしい。
会長	簡単に利用できるシステムにしていただくよう、お願いする。
	< 保育所等の職員による虐待に関する通報義務等について >
事務局	資料 2、こども家庭庁資料に基づき、事務局より説明
会長	先程の説明に対して意見はあるか。
委員	虐待を発見したら通報することになるが、保護者が自身の子どもの様子がおかしいと感じた場合、保護者はまずどこに相談すればよいのか。万が一、保育者による虐待が疑われる場合、どう対応いただけるのか。保護者は、市役所に連絡すればよいのか。
事務局	市役所で受け付けし、関係者等からの聞き取り、事実確認をしていく。仮に、そのような事象が確認される場合、所管がどこになるかで動きは変わるが、まずは、市に連絡いただきたい。
委員	保護者が、また、園が虐待を発見した場合、市に通報いただくのがよいと思う。今回の法律改正は、保育者が他の保育者の虐待を発見した場合に、通報する義務が生じていることである。子どもを守ることを最優先されている法律であり、発見した後、通報しないことは法律違反になる。
委員	市独自のガイドラインの策定はできているのか。
事務局	できていない。

<p>委員</p>	<p>市としてのガイドラインを策定していただきたい。虐待を見つけた時、子どもから話を聞いた時、どこに通報したらいいのかを、ガイドラインに落とし込むことが必要である。</p> <p>また、保育者同士がお互いの保育を見つめ合うことが必要なことである。</p> <p>今後、子どもからあがってきた声をどう受け止めるかを考えてほしい。子どもが思ったことや、様子がおかしいと感じた時に、保護者が気付いて代弁することもあるだろうし、4～5歳児になると自ら言ってくる。保護者や園の保育者以外に言える場所があるのかどうか、を考えていただきたい。</p> <p>子どもの性暴力防止に対しても厳しい取り決めがなされているので触れていただきたい。未就学の期間でも性暴力は起こっているが、なかなか分かりにくいので、検討の中にいれていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>虐待にかかる市独自のガイドラインの策定に努めたいと考えている。</p> <p>子どもアドボカシーについては、虐待を含め広く声が聴ける、子どもたちが言いやすい環境をつくる必要があると感じている。</p> <p>性暴力防止についても、考えていく必要性を感じているところである。次年度以降になるが取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>保育士が通報できない職場環境もあるのではないかな。そんな場合、どうすればいいのか。</p>
<p>委員</p>	<p>園は、虐待や不適切な保育に関する取扱を悩んでおられる。しつけと虐待の違いであったり、保育者同士の思いや感情の違いがある中で保育をされている。保育者同士がコミュニケーションを取りながら保育に取り組めたらいいが、保育士に多くのことが求められており、「誰通」があって、課題を抱える児童がいて、保護者対応があって、多くのことを抱えている中で保育をやっている状況なので、現場にいる保育士がお互いを支える仕組みをつくることが</p>

	重要である。
委員	県の通報窓口、相談窓口を活用いただくのがよいのではないか。
会長	来年度から、子ども・子育て会議の委員の中から審議会にかわる部会の委員を選定されるということか。
事務局	この会議で報告させていただくか、委員を絞って報告させていただくか、いずれかを考えている。
会長	委員は、報告を受けるだけなのか。
事務局	市が所管行政庁として行った措置の報告をさせていただく。重大な事案が発生した場合には、措置の相談をさせていただくこともあるかもしれないが、基本的には、報告させていただき、市の判断や措置についての意見を頂戴する機関と考えている。
会長	要保護児童地域対策協議会のように、お子さんへの支援方針を決定していくものとは違うのか。
事務局	子どもの権利を守るという点では、同意義をもつ会ではあるが。
会長	委員の方に大きな負担をかけることになるのではと懸念する。今後、提示いただけたらと思う。いずれも重要な案件なので、しっかり取り組んでいただきたい。
	<アンケート調査について、こどもまんなかアクションリレーションポジウムinにしわきについて、市制20周年記念まちづくちフォーラムについて>
事務局	資料3、4、5に基づき、事務局より説明
会長	小学生のアンケートで、保護者から愛されていると感じていない児童がいることが気になる。特定す

	<p>ることはできないが、非常に気になる。何とかならないものかと思う。</p>
会長	<p>議事については終了する。 本日の会議が今期での最終となる。各委員から意見を頂戴したい。</p>
委員	<p>子どもに一番近い年齢として、その年代の代表として、意見を言わせていただいた。</p>
委員	<p>委員として参加させていただいたことで、声をあげていく意義がわかった。学びの多い会議だった。</p>
委員	<p>市の中で子育てについて議論している場があることが知れて、一保護者として心強く感じた。周りの方にも伝えていきたい。</p>
委員	<p>様々なサービスがあることを、同僚や子育て中の方に伝えていきたい。</p>
委員	<p>学びの多い会議であった。</p>
委員	<p>4人の父親であり、その視点から意見を言わせていただいた。父親がどのように育児に関わっているのか、気になるところである。父親の育児休業が進んでいることを嬉しく思う。</p>
委員	<p>子育て支援制度がとても充実してきている。良い情報をどう発信するか、必要な人にどう届けるか、が大切である。</p>
委員	<p>制度を現場の人がどう思っているのか、現役世代の人がどう思っているのか、会議で当事者の声が聞けて良かった。 里親制度が変化している。中高生から家に居られないとの声が上がリ、里親が一時保護を担っている。里親制度を知っていただきたい。</p>
委員	<p>自分が子育てした時と環境が変わっている。父母</p>

	<p>の手助けを何かできないか、考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>現在子育て中である。過去、保育士をしていた。いろいろな視点で皆さんのお話を聞かせていただいた。子育てしやすい環境は整ってきていると感じるが、今後、西脇市独自施策で「西脇市で子育てしたい」と思っていただけのように思える。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもの意見表明、意見反映は、非常にハードルが高いと思っていたが、こども会議やキッズ・ジュニアサポーターなど取り組まれており、素晴らしい</p>
<p>委員</p>	<p>子どもの数が減り、子ども会が存続できない町がある。</p>
<p>委員</p>	<p>子ども・子育て会議を、西脇市の子育てのビジョンを語る会にしたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域から保育施設がなくなると地域がなくなると思う。皆で守っていききたい。</p>
<p>委員</p>	<p>小中学校の統合が進んでいく。統合すると通学でバスを利用することになり、子どもたちの登下校時に会うことがなくなる。コミュニケーションが減り、人との関係性が薄くなっていく。</p> <p>子どもは地域の大切な宝物であるという認識で教育に携わっている。</p> <p>家庭へのアプローチが難しくなっているところであり、教育委員会、福祉部局と連携を取りながら、寄り添う姿勢を大切に支援をしている。</p> <p>今年度、市の人権の会議で、子どもたちが人権について発表する機会があった。大人も子どもも区別することなく、皆が人権が守られるべきであり、議論の中に子どもたちが参画したことが大きな一歩である。パートナーとして扱うことができる取組が必要であると感じている。</p>
<p>会長</p>	<p>娘の夫が、終始孫を抱えている姿を見る。育児休業も取得し、子育てに関わっている。母子保健の児健康診査に長年携わっているが、子どもの人数が</p>

	<p>減ってきていることを痛感する。子どもが減ると、地域の活性化へ影響するだけでなく、小児科の開業医が減るというリスクがある。それだけでなく、保育教諭等の人材についても確保が難しくなるのではないかと思う。そのような中で子どもを守っていかないといけない。</p> <p>今期で終了となる委員についても、引き続き御意見をいただきたいと思います。2年間お世話になった。</p> <p>○閉会</p>
問合せ先	<p>西脇市福祉部はびいくサポートセンター 電話：0795-22-3111（代）</p>